

別記様式(第5条関係)

会議録

会議の名称	第11回登米市環境審議会
開催日時	平成27年12月24日(木) 午後2時開会、午後3時45分閉会
開催場所	登米市南方庁舎 2階 大会議室
議長(会長)の氏名	佐藤 幸一
出席者(委員)の氏名	【学識経験者】高橋由紀子 【関係団体】鈴木洋子、佐藤律子、只野好子、佐藤 幸一 【関係行政機関】赤坂博幸 【市民(公募)】和田伸一、長埜孝喜 【市長が必要と認める者】及川俊弘
欠席者(委員)の氏名	【学識経験者】嶋田哲郎 【関係団体】小野寺裕幸、高橋平克、須藤健治 【市民(公募)】蓬田恵美子 【関係行政機関】松野茂
事務局職員職氏名	市民生活部 部長 神田雅春、環境課 課長 木村達之、課長補佐兼係長 大宮兵治、課長補佐兼係長 小泉一誠、係長 白岩登世司
議題	議事 (1)環境についてのアンケート調査について (2)第一次登米市環境基本計画の施策検証結果について (3)第二次登米市環境基本計画(素案)について (4)第二次登米市環境基本計画実施計画(素案)について (5)第二次環境基本計画策定スケジュール(案)について その他
会議結果	別添のとおり
会議経過	別添のとおり
会議資料	資料1 第一次登米市環境基本計画の施策検証一覧【計画期間内に達成すべき目標】 資料2 第二次登米市環境基本計画(素案) 資料3 第二次登米市環境基本計画実施計画(素案) 資料4 第二次環境基本計画策定スケジュール(案) 参考資料1 住民アンケート(地域別・年代別集計結果) 参考資料2 児童生徒アンケート(地域別・小・中学生別集計結果)

発言者	議題・発言・結果
事務局	開会
会長	あいさつ
市民生活部長	あいさつ
議長(会長)	<p>それでは議事に入る。 (1)「環境についてのアンケート調査について」及び、(2)「第一次登米市環境基本計画の施策検証結果について」を一括して、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(アンケート調査結果及び施策の検証結果を説明)
議長(会長)	ただ今の事務局の説明に関して、ご質問、ご意見をお願いします。
委員	<p>第一次計画の施策検証で、ネイチャースクールが不順で終了となっているが、まだまだ開催すれば参加したいと思っている人たちがいるのではないかと思います。どうして人が集まらなかったのかなどの分析した結果を聞きたい。</p>
事務局	<p>ネイチャースクールは終了しているが、環境出前講座に振替えて、事業は継続した形を取っている。</p>
委員	<p>これからは環境出前講座の中で、ネイチャースクール的なものを行っていくということでよいか。</p>
事務局	その通りである。
議長(会長)	他にいかがか。どうぞ
委員	<p>確認であるが、検証一覧の項目、良好な生活環境の維持及び回復の NO16、17で、不順とやや不順となっている。第一次の評価は、第一次計画に目標数値がないが、第一次計画の施策の展開した割合で評価されたのか。今回、第二次計画素案には、目標とか入っているのは、評価しにくいということだと思うが、数値は伊豆沼も長沼も急激に良くなるはなっていない状況である。そんな中で財団や市が中心となって協議会を作っており、第二次計画素案に目標して出てくるが、CODを7.4から6に下げるとか、これから展開していくことでよいか。</p>
事務局	その通りである。
議長(会長)	<p>その他にいかがか。無ければ、アンケート調査結果についてと、第一次登米市環境基本計画の施策検証についての質疑は終わらせていただく。</p> <p>次に、(3)第二次登米市環境基本計画(素案)についてであるが、(4)第二次登米市環境基本計画実施計画(素案)について、関連があるので一括して事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(第二次環境基本計画(素案)及び第二次環境基本計画実施計画(素案)を説明、欠席の嶋田委員からの意見等を報告)

議長(会長)	ただ今の事務局の説明に関して、ご質問、ご意見を願います。
委員	先ほど、COD の話をしたが、24 ページの湖沼の平均 COD は、4つの沼を対象としているが最後の沼は何と読む沼なのか。
事務局	「はたおりぬま」と読む。
委員	ここは COD の調査をしているのか。
事務局	市が調査を実施している。
委員	年間何回、調査しているのか。
事務局	年間1回である。
委員	その平均値の実績が7.4であるのか。伊豆沼、長沼、平筒沼で11近くいくのかと思う。
事務局	平筒沼は、今年4.2である。
委員	機織沼と平筒沼の2つで、7.4に下げているのか。
事務局	そうである。県管理の伊豆沼、長沼が高くなっている。
委員	<p>19 ページ、基本目標2の生活環境で、大気環境の保全、水質・土壌環境の保全、騒音・振動防止対策の推進について記述されているが、全体のそれぞれの基本目標の中で、このページだけが規制基準の内容になっている。前回の第一次計画のところの文言を引っ張ってきていると思われるが、第一次計画は前段に法の名前とか条例とかが記述されている。例えば、悪臭であれば、「悪臭防止法の規制地域は適用されていないので、条例の特定施設の指導をする」のような書きぶりになっている。このページがよく分からない。おそらく規制基準ということと、法令を順守するとか、特定施設という言葉が出てきて、最後の騒音・振動防止対策のところだけ、県の公害防止条例の言葉がここで出ている。実は、悪臭にも公害防止条例があるし、大気にもある。その辺の法と条例とかを整理した方が、分かりやすくなるのかなと思う。</p> <p>それから、(2)水質土壌環境の保全の①河川・湖沼の水質浄化対策のところ、「水質の常時監視を実施します。」と記述されているが、常時を削除した方がよいのかなと思う。常時だと県で実施している水質汚濁防止法のように毎月1回とか、2回とかの頻度で実施するのであれば、常時監視の扱いになるかと思う。常時を削除して、法と条例の文言の整理をした方がよいかと思う。</p>
議長(会長)	他にいかがか。
委員	<p>嶋田委員からの教職員をネットワークに入れた方がよいとの提案に賛成である。学校の現場の方は、どちらかというとアンケートの結果を見ても常識的な感じに出てきており、環境をマナーや道徳的な面から見て、子どもたちも感じている部分がある。実際、リアル感や、実感が子どもたちにどれくらいあるのかなと思うところがある。それは環境に関する作文等の審査会で見ると、中学生の作文であっても、小学校の中学年の子どもと同じようなことを書いている。子どもたちにとって環境というのは、マナーの面から大切なことだと教わり、そのような考え方をしてい</p>

る。自分の地元を見て、実感を伴って言っている言葉でない部分があるのではないかと思う。嶋田委員も子どもたちをもっと自然に触れさせることから、将来を担う子どもたちを入れたらどうだということについてはすごく賛成である。例えば、中学校の生徒たちが毎年夏休みの課題としてネイチャーフォトというものを作ってきた。それを私が PTA にいたころに、市サンクチュアリセンターで展示して一般に公開する流れを作ったが、ちょっと時間がたつと無くなってしまった。学校と登米市とのつながりが、すごく希薄だと感じている。子どもたちは学校にいる時間も多し、縛られている部分も多いので、なにか良い方法がないかなと思っている。例えば、東和町のゲンジボタルだが、今、地元で子どもたちがゲンジボタルの保全にどれくらい参加してやっているのか。米川小学校に編入されて、鱒淵小学校が無くなり、鱒淵の子どもたちがバス通学で家に戻った時に、ゲンジボタルの保全についてあれほどいい実践をしてきたのに、米川小学校に通うことになっても、本当にうまくいっているのだろうか。もう1回ゲンジボタルの保全に取り組む仕組みを環境教育の中で、市の応援をいただいて、やり直す必要があると思っている。これは、別に難しいことではなく、イベントを多く作ればいいわけではなく、日常の学校にいる間に環境教育で何ができるのかを、市の方で注意深く見ながら、校長先生などへ後押しを頼んで、学校の現場で取り上げるような特色のあるネイチャースクールが無くなるのだから、どこかで繋げていかないとよくいかないのではないかと思う。地域独特の環境プログラムの設定は難しいことだが、今やることで、後々の 10 年後、20 年後につながるのではないかと思う。もう一つは、それぞれの学校でやっていることはあるので、それを情報ネットワークの中に、学校で環境に関する実践があれば公開したいのという形で依頼し、ネットワークの中に各学校での研究等を取り込むことでうまくいかないかなと思う。第一次計画の中では市民を巻き込む形の主眼にすえたのが、生きもの調査だったと思う。生きもの調査も立ちいかなかった。紙だけ配られて、興味のある方、アカトンボを見たら、どこで見たかを報告してくださいだけで、集められた情報も公表されなかった。やっても市民や子どもたちに帰るはずの情報が発信されなかった。難しいことではあるが、イベントではなくて、地道な活動を、学校を刺激しながら行っていくことが、将来的にはいいのではないか、プラスになるのではないかと思う。

委員

関連であるが、及川委員や嶋田委員の話に同感であり、情報の共有化の話は、ずっと前から話していたことである。例えば、学校なら学校だけでやっている実践、JA でやっている実践もあるし、公民館でやっている実践もあるだろうし、子どもたちを対象にした実践はいっぱいあると思う。やっている部署に拘らずに全体的に子どもたちがやっているのかを把握することが大事で、それを共有する場として、以前に環境フェア見たいのをやってはどうかとの話も出たが、是非そういうことを具体化できるような情報の共有のネットワークを考えていかなければと思う。それから、出前講座にしても、生きもの調査にしても、そうなんです、「こういうのがありますよ」「してください」「見つけた人はどうぞ」、どうぞでは来ないと思う。生きもの調査でも、ただ紙に書くのではなくて、学校の方で見つけた日時、場所を文章ではなく、各地域のマップを学校に示して、書きやすいようにしてあれば、報告しやすいと思う。報告あったものは、少なくとも全体に知らせるべきだと思う。出前講座を知らない人がたくさんいるし、学校にも出前講座の案内は行っているが、学校内で出前講座について周知されておらず、後で先生たちの間で出前講座があることを口コミで知る状況にある。学校とネットワークを図りたいと文書を出したとしても続かないので、そうならないように何回も分かるような形にしていく必要があり、広報などに掲載することも大事である。先のネイチャースクールなどは公民館で実施すると、良いネイチャースクールができるというも思っている。出前講座も公民館を主体として、子どもたちを巻き込んでいくと、子どもたちも参加しやすいし、親たちも参加しやすいこともあるので、是非、具体的な発信をしていき、それに応えられるよう

	<p>な形を作るともっと進んでいくのかなと思う。</p>
委員	<p>登米市は環境に関心が深く、毎年開催されている「人と野生動植物との共生を考えるつどい」は、大変参考にしているし、質の高いものだと思っている。子どもが何人参加しているかとなると参加していない状況であり、今回は1月下旬にあるが、東北でも数少ない生物多様性地域戦略を策定しており、エコクラブに入っている学校へ児童生徒の参加をお願いしても良い時期ではないかと思う。</p>
委員	<p>環境教育は環境問題に特化するのではなくて、学校などで捉えるのは環境問題になるので、もっと地元の自然を知ることを含めて、自然学習が一番基本にあると思うので、アンケートなどを行う時には、自然学習を含めた環境教育や環境学習のところが明示していくと、もっともっと具体的にやっていることが出てくると思う。</p> <p>参加したくなるような計画であれば、土日は子どもたちが参加すると思う。7、8年前になるが、吉田公民館で探検クラブをやっていたが、登録者数は親子40人くらいで、月1回の活動で多い時には40数人、少ない時には20人くらいが参加しており、必ず親が参加しなければならないことではなく、子どもだけの参加でもよい、自由な参加で、ネイチャースクール的な事業を3年間実施した。やり始めると子どもたちは面白いと言って、休まないし、楽しみにしており、参加者が増えていき、興味を持つことは1年生でも、6年生でも全然関係ないと思うので、公民館あたりを利用してネイチャースクールなどはどんどん出来そうだと思う。</p>
委員	<p>現在も、登米市内には、良い環境のところがいっぱいある。昔であればスライドであるが、今ならビデオに撮って、環境学習を行うところへ貸し出しをして、子どもたちに、良い環境があることを気づかせるような取り組みがあっても良いかと思う。</p>
事務局	<p>高橋委員、及川委員から環境教育について、ご意見をいただいたが、市内の行政区や各種団体、事業所、小中学校、環境市民会議の会員などに環境活動の実施や活動内容についてアンケート調査を実施し、現在、回答いただいた内容の取りまとめを行っている。まとめ次第、情報の共有化を図るため、市ホームページに環境活動や環境教育・環境学習の内容を掲載する予定である。</p>
議長(会長)	<p>市ホームページには、生きもの調査などの結果が掲載されているのか。</p>
事務局	<p>現在、市ホームページには、環境活動や環境教育・環境学習の内容を掲載していないので、これから掲載する予定であり、活動している写真なども見ることができるようになりたいと考えている。また、11月に開催した生物多様性推進会議の中で、市ホームページを見ない方や見ることができない方に対しての共有化の方法の検討が必要で、市広報紙を活用した方がよいのではないかとのご意見はいただいているが、市長公室との協議が必要なので、今後の課題とさせていただいている。</p>
議長(会長)	<p>他にいかがか。</p>
委員	<p>実施計画(素案)16ページ56のマイバック運動の推進であるが、前期が平成28年度から平成30年度までとなっているが、後期もあるのか。また、私たちの団体は前から取り組んできたが、他の団体も取り組んでいるのか。</p>
事務局	<p>前期、中期、後期としている。マイバック運動の推進については、平成21年度からみやぎレジ袋削減協定に、登米市として市内の大型店舗等や、環境市民会議会員の団体が加入している。同じような取り組みとしては、県内や東北の市町村が加入して取り組んでいる。</p>

委員	<p>婦人会でも取り組んでいるのか。</p>
委員	<p>婦人会でも取り組んでおり、先日ファクシミリで報告している。</p>
事務局	<p>加入されている団体については、加入は任意なので市町村によって違うが、だいたいは同じような団体が加入されている。</p>
委員	<p>マイバック運動を推進して報告書を提出しているが、100%の店もあるけれども、100%に満たない、マイバック運動にならない大型店舗もあり、レジ袋を3円や4円で買うことができるなど、なかなか統一性がなく、店舗側の考えもあると思うが、市内だけでも統一した方が良いかもしれない。たぶん女性の方はマイバックを持参しているが、男性の方は難しいのかなと思っている。市広報紙などにマイバック運動を実施している団体を掲載してはどうかと思っている。毎年報告書を提出しているが、見ていてくれるのかなと思うところもある。証拠写真も出しているが、さまでこまで浸透しているのか。私としては頑張っているところを見せたいと思っている。いつかの機会がいいので、例えば、産業フェスティバルなどのイベントの時に掲示などを、もしやるのであればその時に啓発などと併せてお願いしたいと思っている。</p>
委員	<p>婦人会でも、マイバック運動を推進していることは、耳にタコが出来るくらいに話をしており、おそらく会員の中にはマイバックを持たないで買い物をする人はいないのではないかなと思っている。笑い話になるが、私がマイバックを忘れて買い物に行った時に、どこかの男性の方がマイバックを持って来ていて、買った物を詰めたのを見て、買い物をするのを止めて帰った。</p> <p>あと、ごみの減量については、私たちの地区の婦人会では段ボール、新聞紙、アルミ缶などをゴミの日に出さないで、年2回ほど、業者に売って婦人会の活動費にしている。</p>
議長(会長)	<p>マイバックについては、だいぶ浸透しているのではないかな。私もスーパーに買い物に行った時に、みなさん持って来ているのを見かける。他にいかがか。</p>
委員	<p>先ほど生きもの調査の話が出たが、私も地域内の農地・水で担当している田んぼ周辺の野鳥調査を5年くらい行っていた。別なグループは、夏休みに小学生と一緒に生きもの調査を実施しているが、その調査内容は分からない。集計結果がどこにあって、どこで公表されているのか、今までずっと疑問に思っていたし、野鳥調査も5年やって、あと実施しなくてよいと話があったので、その後実施していないが、調査をしている姿や、地域全体でやっている姿を見ると、自然に良い形で参加する人たちが、子どもだけでなく大人も、父兄やおじいさん、おばあさんたちも関わりを持ちたいという人たちが出てくると思っている。是非、調査結果を公表してもらい、それを見てやりたいなと言う人が出てきていただきたい。あと、もうひとつ、大人のアンケートも、小中学生のアンケートも、経済と環境の部分が両方うまくいくようにしてほしいとの要望があるように思う。緑が豊富な地域なので、その点を自己満足しないで、もっと進めて観光的な要素で何かできないか、横の連携で商工観光課が入ってくるが、やればもう少し活性化になるのではないかなと思っている。それから、公園に木を植えることに関して、やっていくのだなという気持ちに賛同している。それも地域や子どもたちも含めて、場合によっては近辺の会社関係に働きかけて一緒に植樹作業をすとか、そういうことによって大分変わってくると思う。良くできたところは、観光ルートをうまく作って、よそから来た人たちに登米市にお金を置いていってもらおう方式になればと思っている。</p>

議長(会長)	観光面でとなると、良い景観があればだが、どうなのか。
事務局	観光となると、グリーンツーリズムやエコツーリズムの分野に入ってくるので、他課との連携が必要であり、あとは、どなたがやるのかが出発点になってくるので、調整を図りながらやっていくことになる。
委員	私は企業に勤めていたので、企業は横のつながりを大事にして、良い案が出来たら、横に協力を求めて一緒にやってもらおう。得意分野で、例えば、公園化などは都市開発関係に力を借りるとかは、出来るかと思う。観光ルートについて、このあたりだと、長沼公園からカントリーエレベーターまで最短距離で来ることができ、次に大岳山に行って、平沼沼へ行って桜見物をしたら最高ではないか。その中間に食事するところがあればいいのかなど考えることがある。アンケートの中で、登米地区のアンケートなどは、経済的要素がちょっと恵まれており、その部分が出てきていると思う。環境課だけが頑張るのではなくて、もうちょっと庁舎内で協力できる部分はないのか。官公庁ではこういう担当の分野を頑張るところが非常にあるので、民間に努めた私から見れば、このようなことを投げ掛けてほしいなど思っている。よろしく願います。
議長(会長)	いろいろと商工観光課と連携して考えていただきたい。
事務局	わかりました。
議長(会長)	他にいかがか。先ほど、学校関係の話があったが、やはり子どもたちを親と一緒に環境問題を考えさせるべきだと思う。学校には事業などのお願いをしていると思うが、どうか。
事務局	出前講座については連絡しており、要望があれば講師を派遣している。
委員	その時、例えば、電話の1本でも入れて「出前講座要望ありませんか」と言っていただけで、文書が来ていたことを思い出すことになる。私も何カ所の先生に出前講座の文書が来ているはずだよと言ったが、中には学校で「分からない」と言われた人もいた。文書を出した後、忙しく文書綴りに綴じてしまっていることもあるので、近くなったら、電話一本していただくと注意喚起にもなるし、そのひと押しが大事だと思う。
事務局	逆に学校では、もう12月あたりで次年度の計画が組まれてしまっているようだが、市から文書を出すことが遅いことになるのか。
委員	興味を持っている人は、忙しくても出る。その魅力は、来ない人に感じてもらえないことが残念なことである。私もクラスで面白いよと言うが、やはり、スポーツ少年団等に吸い取られている。嶋田委員が居ればだが、長埜委員も野鳥のことを話されたが、今、全国でも5、6例しかない、珍しいインドカンが一羽来ている。珍種を発見した場合にいち早く知らせると、関東方面から鳥好きが一気に押し寄せて環境が悪くなるので、鳥を見る人はそのルールを知っている。最近、河北新報が取り上げて暗黙のルールが崩れて、新聞報道なので一気に人が集まりそうになり、マナーの問題に発展しそうになっている。地元の人に地元の恩恵を味わってほしいと思っているし、恩恵を味わうことは必要である。東京の人が高速を飛ばして夜中走って朝に着いて見るよりも、もっと地元の良さを分かる方法がしくみとしても、情報発信としてもあっていいのではないかと思う。サンクチュアリセンターに電話すると、そのような情報がもらえる。市民や子どもたちが、もっとワシが見たいとか、こういう

	<p>のが知りたいと思う環境が整えば、どんどん興味を持ってくるのではないかと思う。学校での受け入れは大丈夫である。</p>
議長(会長)	<p>これは教育委員会と連携しなければならないことである。確かに学校は忙しすぎて、お願いに行っても組まれたスケジュール以外は難しいのが現実である。その中で何とか先生たちに入れていただきたいと思う。</p>
委員	<p>一番入りやすいのが、12月、1月であり、1月頃までに計画を文書で送っていただければ、こういうのがありそうなので入れようかとなる。</p>
事務局	<p>次年度の分は、12月、1月の時期を狙って文書を送った方が良いか。</p>
委員	<p>その方は良いと思う。</p>
委員	<p>県伊豆沼・内沼環境保全財団と共催の形で、確実な集客力のあるところと共催の形を取って窓口が広がれば、すごく良いことだと思う。</p>
事務局	<p>共催というよりも、講師としてお願いしている。</p>
委員	<p>企業でトヨペットが、木の寄付を全国で行っているのだから、うまく活用しても良いのではないか。村田製作所は米川の方で、植樹の協力をしていることを聞いたが、他にもあると思うので、企業を巻き込んで植樹やゴミ拾いなどの協力を気楽に話しかけてみても良いかと思う。</p>
議長(会長)	<p>嶋田委員の修正案の文言は、修正可能か。</p>
事務局	<p>この後、スケジュールの説明をするが、これからパブリックコメントを行うので、それらと一緒に修正する。</p>
議長(会長)	<p>パブリックコメントが実施されるので、それも勘案し、文言あるいは文章の修正がされることなので、次回の審議会開催あたりまで修正されるのか。</p>
事務局	<p>今日まで出た意見等を修正した素案で開催するか。パブリックコメントが終了し、素案を全て修正した時点で開催するか。どちらの開催でも結構である。</p>
議長(会長)	<p>他にいかがか。審議会は、あと2回開催となるのか。</p>
事務局	<p>1回でも2回でも構わないので、今の資料は1回となっているが、2回開催も可能である。</p>
議長(会長)	<p>あとよろしいか。</p>
委員	<p>実施計画には、予算関係が記載されていないが、これで良いのか。</p>
事務局	<p>予算関係は、市総合計画の実施計画に記載しており、環境基本計画は下位計画なので、市総合計画の実施計画の中に予算関係は入る考え方でお願いします。</p>
議長(会長)	<p>それでは次に、(5)第二次登米市環境基本計画策定スケジュール(案)について、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	(第二次環境基本計画策定スケジュール(案)を説明)
議長(会長)	ただ今の事務局の説明に関して、ご質問、ご意見をお願いします。答申まで2回開催することか。
事務局	2回開催することで決定していただければ、2回開催で予定する。
議長(会長)	パブリックコメント後に1回開催して、2月下旬に答申内容を決定することよろしいか。
事務局	開催時期であるが、1回目はパブリックコメントの期間中で1月 27 日までの間に行いたい。この日程のとおり2月下旬に開催したいと思う。1月 27 日までの間で開催日については会長と調整させていただく。
委員	この時は、パブリックコメントに来ている意見を提示出来るのか。
事務局	意見は来ている分については提示出来る。
委員	あまり変わらないのであれば開催する意味がないのではないか。大きく中身が変わる意見が来ないのであれば開催しなくてもいいのではないか。
事務局	それでは、この日程とおり2月下旬の開催となり、1回で修正内容を提出することになる。修正については、この前の議会常任委員会では意見が出なかったが、今後、議員から意見が出てくると思うので、それに対しての修正となる。あとは、嶋田委員からの修正分と、文言や語句などの小さい修正くらいで、大きな修正はないかと思う。
議長(会長)	開催については、パブリックコメントの意見の提出状況によっては、2月下旬に最終開催とすることよろしいか。
	(全員異議なし)
事務局	開催については、会長と調整させていただく。
議長(会長)	それでは、以上で議事を終了する。
副会長	閉会のあいさつ
	(閉会)